

南本牧ふ頭で新たな物流施設が9月着工！ 総延床9万㎡超のロジスティクス拠点を形成

横浜港は、国際コンテナ戦略港湾として、コンテナ貨物の創貨施策「ロジスティクス機能の強化」を推進しており、主要コンテナターミナルに隣接した利便性の高いエリアに高機能物流施設の集積を進めています。

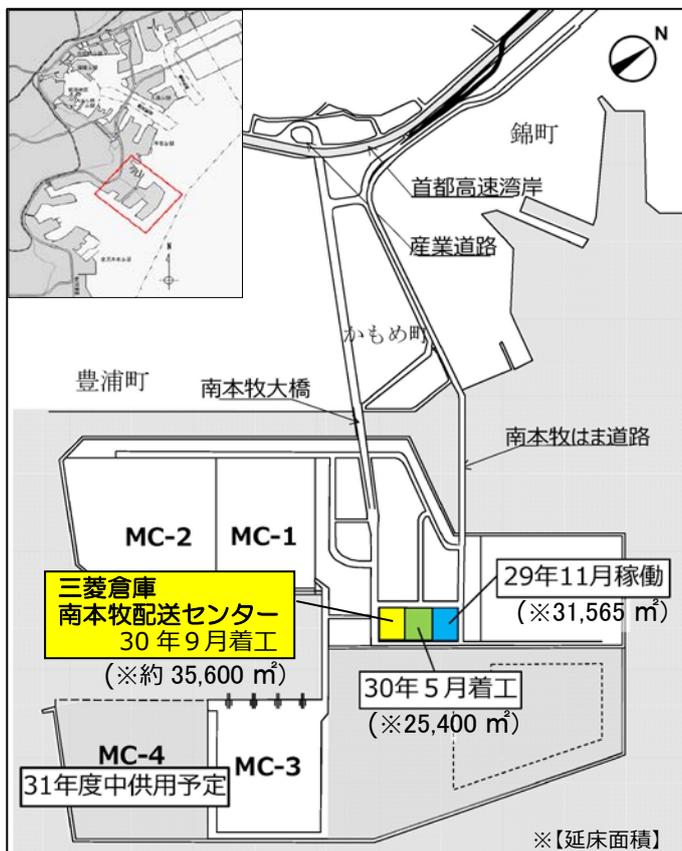
南本牧ふ頭では三菱倉庫(株)を含む大手物流事業者3社が総延床面積9万㎡超の施設建設を決定しており、1棟は29年11月に稼働開始、1棟は30年5月に着工しています。そして、30年9月に新たに三菱倉庫(株)が、延床面積約3.5万㎡の物流施設を着工することになりました。当施設は、「災害に強いエコ倉庫」として、太陽光発電設備等により環境負荷低減を推進し、非常用発電設備により安全安心な横浜港の港湾物流を支えることも期待されます。

これにより、31年度中に供用開始予定の耐震強化された高規格コンテナターミナルMC-4との相乗効果で、南本牧ふ頭のロジスティクス機能の更なる強化が期待されます。

横浜港は、今後も高機能物流施設の集積に向けて積極的に取り組んでまいります。

(※同日付で三菱倉庫(株)も記者発表していますので、参考として添付します。)

■所在地



■竣工予想図



■三菱倉庫 南本牧配送センター

(1) 施設概要

所在地：横浜市中区南本牧3番1
敷地面積：約10,700㎡
延床面積：約35,600㎡
構造：柱鉄筋コンクリート造
梁鉄骨造 5階建
設備：太陽光発電設備、
非常用発電機を設置

(2) 主要取扱品目

食品・食品原料等

(3) 工事期間

着工：平成30年9月

竣工：平成32年2月(予定)

お問合せ先

港湾局物流運営課担当課長 永田 実 Tel 045-671-2873